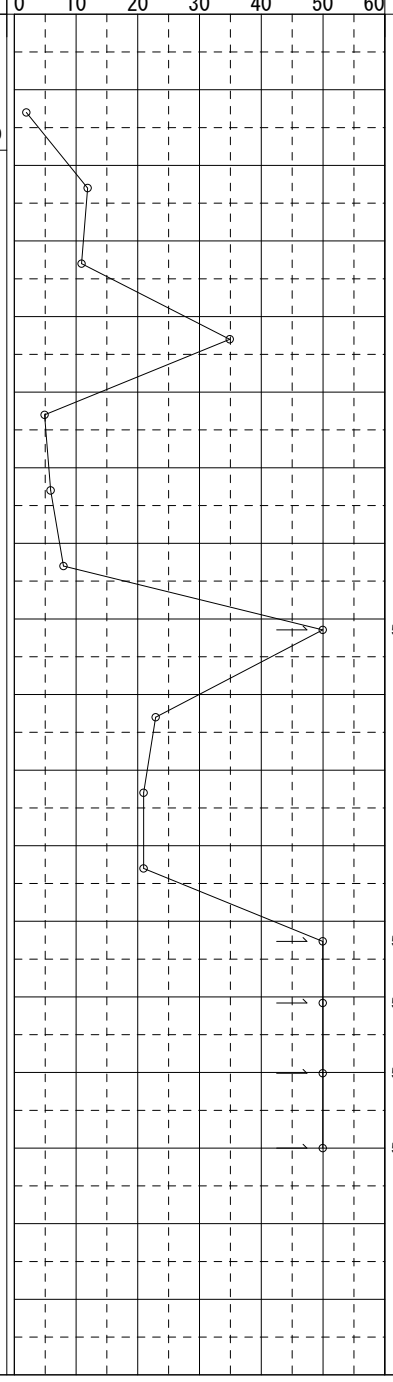
土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名	一般国道317号(青影バイパス)道路改良事業に伴う設計業務委託
事業・工事名	
調査目的及び調査対象	道路　構造物基礎

ボーリング名	Bor.No.3	調査位置	広島県尾道市因島中庄町			北緯	34° 19’ 11.5000″
発注機関	広島県東部建設事務所三原支所			調査期間	令和2年10月27日～ 令和2年10月28日	東経	133° 10’ 01.8200″
調査業者名	株式会社　荒谷建設コンサルタント 電　話　082-292-5482	主任技師	濱田 祐二 地質調査技士登録番号：第19839号	現場代理人	藤井 美南 地質調査技士登録番号：第23733号	コア鑑定者	藤井 美南 地質調査技士登録番号：第23733号
ボーリング責任者	里岡　隆行 地質調査技士登録番号：第22864号						
孔口標高	TP 18.41m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	0° 水平 0° 鉛直 90°
使用機種	試錐機：東邦D1-B						
総削孔長	15.00m	エンジン	ヤンマーNFD-12型	ポンプ	東邦BG-3C型		

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名(模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位/測定月日
	17.91	0.50		砂礫		暗褐灰			表層はアスファルトおよび砕石。 砕石は最大φ50mm程度。 0.30m付近より礫減少する。	
1				礫混じりシルト質砂		褐	rd2		細～中砂主体。 シルト分を全体に含む。 礫はφ5～15mmの亜角礫主体。 含水多い。	10/27 1.80
2	16.41	2.00								
						褐			細砂主体。 全体にシルト分多く含む。 礫はφ3mm程度の亜角礫主体。 層下部では最大φ50mm程度の流紋岩礫や，L=5cm程度の玉石が混入する。	
3				礫混じりシルト質砂		暗灰	rd3			
4	13.81	4.60								
5				礫混じり砂シルト		黒灰		rc3	細粒分主体。 砂は細砂。 礫はφ10～30mm程度のものが層上部に混じる。 GL-6m付近に植物片混入する。	
6	12.06	6.35								
7				礫混じりシルト質砂		暗青灰	rd2		細～中砂主体で細粒分を含む。 礫はφ10mm程度の亜角礫主体で，最大φ30mm程度である。	
8	10.51	7.90								
				玉石混じり砂礫		褐灰			φ10～30mm程度の亜角礫主体。 砂は細～粗砂。 一部φ100mm程度の玉石を含む。	
9	9.41	9.00								
10				礫混じりシルト混じり砂		褐	rd3		細～中砂主体で細粒分を含む。 含水多い。 礫はφ10mm程度の亜角礫主体で，最大φ30mm程度である。	
	7.61	10.80								
11				礫混じりシルト質砂		灰褐	rd3		細～粗砂主体でシルト分を含む。 礫はφ2～10mm程度。 植物片が混入する。	
12	6.61	11.80								
				砂礫		灰褐	rd5		φ5～25mm程度の亜角礫主体。 礫は最大φ40mm程度である。 砂は細～粗砂。	
13	5.81	12.60								
14				花崗岩		淡褐	rd5		風化花崗岩。 岩級区分はDM～CL級で，深度方向に硬くなる。 層上部は風化が進行しており砂状を呈する。 GL-14m以深は岩片硬くなる。	
15	3.41	15.00								
16										
17										
18										

標準貫入試験



N値	深度 (m)	100mm毎の打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
	1.15	1 / 150	1 / 150		2/300		
2	1.45						
	2.15	3	4	5	12/300		
12	2.45						
	3.15	3	3	5	11/300		
11	3.45						
	4.15	8	9	18	35/300		
35	4.45						
	5.15	1	2	2	5/300		
5	5.45						
	6.15	1 / 200	5		6/300		
6	6.45						
	7.15	4	2	2	8/300		
8	7.45						
	8.05	31	19 / 90		50/190	190	
50以上	8.24						
	9.15	10	5	8	23/300		
23	9.45						
	10.15	10	5	6	21/300		
21	10.45						
	11.15	4	8	9	21/300		
21	11.45						
	12.15	20	23	7 / 30	50/230	230	
50以上	12.38						
	13.05	50 / 60			50/60	60	
50以上	13.11						
	14.00	50 / 20			50/20	20	
50以上	14.02						
	15.00	貫入不能			50/0	0	
50以上							

試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	削孔月日
				10/27
				10/28